

『交流山行を終えて』

カランクルン 小西弘晃

11月4日に聴覚障害者と健常者による交流山行を百丈岩にて企画しました。

3日夜には、有志による前夜拍懇親会を行い、互いの山行実績やこれからの目標など本を見ながら、メモを見書きながら語り合い（私は手話が出来ないので筆談で）、話が進むに連れて、僕の方が経験実績ともに少なく、「このルートはどうだった、あそここのルートは難しいのか」といろいろ教えてもらったり。聴覚障害者ならではのクライミングの苦労や意思疎通の方法を教えてもらいました。

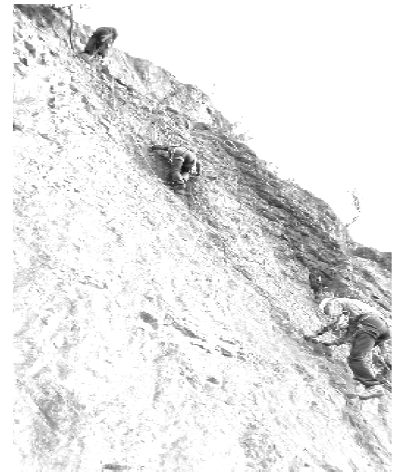
今回の交流会はハイキングをメインに希望者のみクライミングにしようと企画したのですが、参加者全員がクライミング希望者になり、全員でクライミングすることにしました。

編成は3人パーティーとし（聾2名・健常1名×2組）、ルートを百丈岩西壁に定め取り付きました。僕のパーティーは、top聾・2nd健・3rd聾でスタート、topは気持ち良く登り進め、中間支点も丁寧に取ってくれたので後に続く僕たちもスムーズに登れました。ただ、終了点での



ピレー解除の合図やスタートの合図でのテンポが合わなくてもたつく場面がありましたが…、終了点では3人でガッチリ握手を交わしました。2本目の準備をしていると突然の雨、続けるか止めるか悩みましたが、余裕をもった撤収にしました。

反省会では、「よかった」・「楽しかった」のオンパレードで質問時間は技術講座になり『なるほどー』の連続でした、そして最後に互いの技術の向上とさらなる交流を確認しあい無事故で終了、解散することが出来ました。



理事長・教育遭対部長及び関係者の皆様・通訳Hさん、ありがとうございました。